

みずほCustomer Desk Report 2017/05/31 号 (As of 2017/05/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.10 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.19	1.1130	123.76	0.9793	1.2815	0.7439
SYD-NY High	111.29	1.1206	124.38	0.9808	1.2888	0.7470
SYD-NY Low	110.67	1.1110	123.17	0.9738	1.2795	0.7416
NY 5:00 PM	110.83	1.1184	123.98	0.9746	1.2860	0.7466
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.49/8.84		△25RR	1.568	Yen Call Over	

NY DOW	21,029.47	▲ 50.81	債券市場	日本2年債	-0.1640	0.3bp
NASDAQ	6,203.19	▲ 7.01		日本10年債	0.0430	0.4bp
S&P	2,412.91	▲ 2.91		米国2年債	1.2837	▲1.0bp
日経平均	19,677.85	▲ 4.72		米国5年債	1.7549	▲3.5bp
TOPIX	1,572.67	2.46		米国10年債	2.2098	▲3.7bp
シカゴ日経先物	19,620.00	▲95.00	為替市況	独10年債	0.2920	▲0.6bp
ロンドンFT	7,526.51	▲21.12		英10年債	0.9940	▲1.8bp
DAX	12,598.68	▲30.27		豪10年債	2.3910	▲2.4bp
ハンセン指数	#N/A	#N/A		USD/CNH	6.8246	0.0038
上海総合	#N/A	#N/A		ドルインデックス	97.28	▲0.16
USDJPY 3M Vol	8.64	0.15%	商品市況	CRB指数	181.328	▲0.68
USDJPY 6M Vol	9.24	0.29%		NY金	1,265.70	▲5.70
EURJPY 3M Vol	9.42	0.33%		WTI	49.66	▲0.14
EURJPY 6M Vol	10.30	0.66%		Dubai Spot	50.36	▲0.11

東京	朝方に発表された本邦4月失業率・有効求人倍率は概ね市場予想通りの結果となりドル円相場への影響は限定的。東京時間のドル円は111.19レベルでオープン。日経平均が軟調推移する中でドル円もじりじりと下値を切り下げる展開。クロス円の下げも相俟ってドル円が111円ちょうどを下回るとストップを巻き込みながら110.77まで下落。午後にかけては、日経平均が下げ幅を縮小する動きを横目に110円台後半で横這い推移となり、結局110.87レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は上昇した。110.87レベルでオープン。米長期金利が小幅上昇する中でドル円も111円台前半まで値を上げる。しかし、来週に英国総選挙を控える中、ギリシャの債務問題などの政治不安がやや意識される展開にリスク回避ムードが漂い、ドル円は110円台後半まで値を戻し110.95レベルでNYへ渡った。ポンドも上昇した。英国総選挙を来週6月8日に控え、メイ首相率いる与党・保守党の圧勝が期待される中、最新の世論調査にて与野党の支持率が6ポイント差まで縮小していることが明らかとなったことを背景に下押しされていたポンドはポジション調整の動きに1.2871まで値を戻す。その後は、特段目新しい材料に乏しい中で小幅推移となり結局1.2865レベルにてNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、クロス円の下落に連れ安となり110.77まで下落した後、110.95レベルでNYオープン。米4月個人消費が昨年12月以来の大幅な伸びを示したことや前月分も上方修正されたことなどが好感されドル買いが強まる中で、ドル円は111.25まで上昇。しかし、米株が寄り付きから軟調推移したことや月末特有のフローも相俟って米長期金利が低下すると、ドル円も連れ安の展開。海外時間安値の110.77付近のストップを巻き込みながらこの日の安値となる110.67まで下落。この水準では下げ渋ったが、昼過ぎに行われたブレイナードFRB理事が「軟調なインフレが続けば、利上げの見通しを考え直さなければいけないかもしれない」との発言もあり、上値は限定的。その後は110.80付近での狭いレンジでの推移が続き、結局110.83レベルでクローズした。一方ユーロドルは、早朝の「6月ECB理事会でリスク判断を上方修正する意向」とのヘッドラインを受けてテバリング観測の高まりからユーロ買いが強まり、1.1195まで急伸し1.1174レベルでNYオープン。その後も上値を試す動きにこの日の高値となる1.1206まで上昇。1.12台では積極的に上値を追う展開とはならず、1.11台後半での底堅い推移が続き、結局1.1186レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月30日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	4月 2.8%/1.48	2.8%/1.46
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	5月 -3.3	-3.3
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	4月 0.2%/1.5%	0.1%/1.5%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	4月 0.4%/0.4%	0.4%/0.4%
5月31日	2:00	米 ブレイナード・FRB理事 講演	-	-

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月31日	18:00	欧 失業率	4月 9.4%	9.5%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	5月 1.5%/1.0%	1.9%/1.2%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	4.4%
	21:00	米 カプラン・ダラス連銀 講演	-	-
6月1日	3:00	米 地区連銀経済報告(バージュブック) 公表	-	-

【ドル円相場】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.70-111.50	1.1100-1.1180	123.40-124.40

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は動意に乏しい展開。アジア時間に111円台前半で揉み合い推移していたドル円は、英・米と主要市場が祝日にて休場となる中、同水準で小動き。欧州議会にてドラギ総裁が「ECBによる金融緩和がなお必要」と発言したものの、ドル円の反応は限定的で、結局111.28付近でクローズした。尚、アジア時間早朝にユーロドルが直近のサポートポイントを割り、急落する場面でもドル円は111円台前半で動意なく推移している。本日のドル円やや上値の重い展開を予想。本日も台湾・香港・中国とアジア勢が休日となる中、アジア時間は既往レンジ内で推移しそうだ。一方、本日以降にはコミー前FRB議長の公聴会のスケジュールが決定する可能性があることや、月末といった時期性を鑑みるとドル円はやや上値の重さが意識されるだろう。